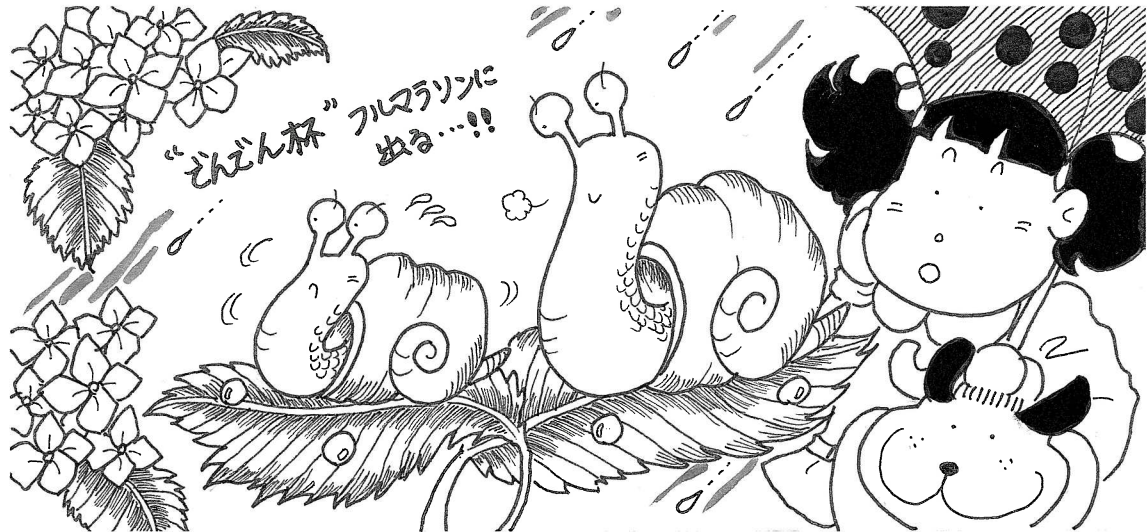


# ONE BOOK ONE LIFE

2019  
6月号



ヘレン・ケラーの灯火  
Nippon Lighthouse



## 掲 示 板

### 視覚障害の方と出会ったら温かい挨拶を！

当館には毎日、大勢の視覚障害の方々が来館されています（5階サービスフロアのお客様は年間5千人超！）。その方々の多くは、玄関やエレベータで誰かと出会っても、相手の顔や様子が見えません。また最近、目の治療中や視覚障害になってまもないお客様が増えており、不安を覚えつつ来館されている方も少なくありません。そこでお願いします。当館の玄関やエレベータで出会った方には、温かい挨拶と名乗り（こんにちは、〇〇ボランティアの〇〇です）をお願いします。それにより、当館で図書の製作や多様なサービスが行われていることを初めて知る方も多いと思います。職員とボランティア間は



もちろんですが、特に視覚障害の方に、安心して当館を利用させていただき、「来て良かった」と思っただけのようにご協力をお願いします。

かわばたなりみち

### 川島成道さんの珠玉のヴァイオリン演奏を

日本ライトハウス第37回チャリティコンサート（6月16日（日）、ザ・シンフォニーホール）が目前に近づきました。今回のゲストはデビュー21年目を迎えた川島成道さんです。川島さんは8歳で視覚障害になった後、ヴァイオリンを始め、国際的に高い評価を得て、現在では演奏活動とCD発表を続けています。チケット3,500円（当日座席券引換）、視覚障害者招待のためのアミティチケット1,000円。3階総務係か募金事業部（電話06-6968-1030）にお申込みください。

### 6月末の臨時休業と、休業日の新設について

6月末、G20開催等に伴い、館内のボランティア活動と利用者サービスを以下の通り臨時休業します。また、7月からサービス部の休業日を新設します。詳細は本誌3頁をご覧ください。

◆6月27日（木）～29日（土）＝館内のボランティア活動、5階サービスフロア（用具・機器販売、個人講習、対面リーディング等）

※ただし、予定済みの講習会は実施します。

◆6月27日（木）～7月4日（木）：アルテ別館の図書貸出サービス

## 20人の子どもたちの笑顔と熱気に包まれて 『アミ・ドゥ・ブライユ』読者交流会を東京で開催

初夏を思わせる陽気となった5月11日(土)、東京で、第2回「みんなで『アミ・ドゥ・ブライユ』読者交流会」を開催しました。同誌はご寄附を元に、2015年から編集・発行している児童向け点字雑誌で、読者は全国に100人余り。第1回の読者交流会は2016年12月に当館で行い、主に西日本の読者が参加しました。その後、「また交流会を開催してほしい」との声が聞かれるようになり、東日本の読者も増えたため、東京都立葛飾盲学校のご協力で、東京開催を実現することができました。当日は東京、千葉、茨城、栃木、神奈川、静岡の小2から中3までのお子さん20人を含む55人が集まり、1日中、笑顔と笑い声に包まれ、熱気に溢れた交流会を行うことができました。(点字製作係主任 奥野真里)



### 知りたいことがいっぱい！

まず自己紹介をした後、『アミ・ドゥ・ブライユ』の感想や意見交換を行いました。「人気の歌手やお薦めの曲が知りたい」(小学女子)、「学校で友達と漫才をしたので、芸人のことを載せてほしい」(小学男子)、「ドラえものの秘密の道具が知りたい」(小学女子)、「電車のことを載せてほしい」(中学男子)など、初めは小学生中心でしたが、様子をうかがっていた中学生からも次々に手が挙がるようになりました。

### 先輩のようにになりたい！

雑誌の人気コーナー「働く先輩」の拡大版として、パラリンピックのゴールボール日本代表候補選手・若杉遥さん(ALSOK所属)にお越しいただき、お話をうかがいました。中2の時に視力を失い、やむを得ず一般の中学校から盲学校に転校。当時は目が見えなくなったという暗い気持ちだったのが、盲学校で友達や先輩達と関わる中で、視覚障害者としてのスキルを身につけ、徐々に自分の障害を受け入れられるようになったこと。そして、元々アイスホッケーをしていた若杉さんが盲学校でゴールボールと出会った時の話。高校の頃から海外の試合や合宿に参加したり、きびきび動く先輩の姿を見たりして、自身が着実に成長し、視野が広がってきたこと

を実感している話などに、参加者全員が熱心に耳を傾けていました。

### デコ点字をつくっちゃオ(chao)！

講演の熱気が冷めやらぬ中、次は創作活動に挑んでもらいました。B5版横の点字用紙に、5マス×2行の大きな点字の枠を作り、その中の適切な位置に点字の代わりにデコシールを貼ってもらおうというものです。お題は、「アミ・ドゥ・ブライユ」。3～4人ずつのグループに分かれて、さまざまな手触りや柄のシールの中から好きなものを選び、1点ずつ貼っていきます。

ここからは、保護者の方も加わり、お子さんと協同作業をしていただきましたが、「手先の動きが必要なため、点字が分かっているだけでは難しい。良い体験だったと思う」、「私の感覚だと文字の順番にシールを貼っていくと思ったが、娘はシールの形でどこの点にするかを選び、バラバラに貼っていて、新鮮な感覚だなと思った」といった感想が寄せられました。



### 「脳トレクイズ」では、やはり図が大人気！

最後は、雑誌で大人気の「脳トレクイズ」でした。2問の図のクイズに挑戦してもらった後、勝ち抜き戦の「〇×クイズ」を行いました。全員、真剣そのもので、それまでの和気あいあいとした雰囲気から打って変わって、会場は緊張した

空気に包まれました。今回、優勝したのは神奈川県から参加した小学6年の女の子でした。クイズを見ていた保護者の方からは、「普段は家で一人でやっているクイズを皆でやると、また雰囲気が変わっておもしろい」、「クイズもすごく楽しそうに参加している息子の姿が見れて嬉しかった」、「難しかったようで、間違えてしょんぼりしていた」といった感想が聞かれました。

## 人とのつながりを広げる雑誌を目指して

このように、読者が直接集まって交流することは、雑誌を読むことの楽しみを何倍にも膨らませるものだと思います。『アミ・ドゥ・ブライユ』を、今後も子どもたちが情報や知識を得るだけでなく、人と人とのつながりを広げることのできる雑誌として成長させていきたいと思っています。

## サービス部の休業日新設と営業時間短縮（7月実施）のお願い

### 振替休業日と在庫・書庫整理日を新設

当館では今年7月から、サービス部(用具・機器販売と個人講習、対面リーディング等)の業務について、以下の通り休業日を設定するとともに、営業時間を短縮することになりましたので、ご了承を賜りたいと思います。

#### サービス部の休業日(2019年7月～)

◆対象 本館5階のサービスフロア(用具・機器販売と個人講習、対面リーディング等、電話06-6441-0039)と、別館の図書・情報係(図書貸出、電話06-6441-0139)

- ①振替休業日＝月曜指定祝日、及び日曜日に祝日が重なった場合は直後の火曜日(図書貸出は従来、直前の土曜日が振替休業でしたが、変更となります。)
- ②在庫・書庫整理(休業)日＝毎月第2木曜日
- ③営業・電話受付時間＝10時～16時30分(一部のサービスは従来通り10時～17時)

休業日は毎月、本誌と当館ホームページ、サービス部のメルマガ等でお伝えします。

サービス部の休業日も、他の係は通常通り開室し、各階のボランティア活動や4階会議室での講習会等は行っています。

当館では、当初から日曜・月曜が休館日だったため、1998年のハッピーマンデー制度以降、月曜指定祝日の場合は、直前の土曜日を振替休館日としましたが、サービスフロアは休業せず、職員が個別に振替休暇を取ってきました。

しかし、年々、業務内容が広がり、休日出勤

も増える中、振替休暇の取得が非常に困難となってきました。加えて、今年度から労働基準法が厳しくなり、大半の職員が年間5日以上の有給休暇の取得を義務づけられましたが、この法律遵守がさらに困難です。また、職員の残業時間も増える一方で、苦慮しています。

これまで職員の努力と役割分担の見直し、業務の合理化等に努めてきましたが、このままでは職員の休暇取得を法律通りに実施することは無理です。こうした事情ですので、どうかご理解くださいますようお願い申し上げます。

### ●6月27日(木)からの臨時休業について

表紙でお伝えした、館内のボランティア活動と利用者サービスの臨時休業は、大阪でのG20サミット開催とサピエのシステム改修のための停止に伴うものです。G20サミットは、世界37の国と機関が集まる「日本がこれまで経験したことのない大規模な国際会議」で、当館周辺でも厳しい警戒と交通規制が行われ、当館への往来や発送作業に大きな影響が発生します。またサピエの改修は、図書データ量の増加に対応するためサーバを増強するもので、改修中は図書の検索や貸出作業が行えなくなります。皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

#### ◆6月27日(木)～の窓口別の休業期間

- \*館内ボランティア活動・5階サービスフロア＝6月27日(木)～29日(土)
- \*図書貸出＝6月27日(木)～7月4日(木)
- ※サピエサポートセンターと総務係は開室。4階会議室の講習会等は予定通り実施。

## 初めての“見えない世界”、意義ある体験会 ガイド体験会～サポートの基本の「き」に参加して

ボランティア友の会主催の「ガイド体験会」が5月23日に行われました。ボランティア20人が参加して、アイマスクをしての歩行や食事体験などを行い、ガイドの仕方や声のかけ方などを学びました。当日の様子と感想を、ボランティア友の会世話人会の植田美穂子さんに書いていただきました。

真夏並みの暑さのなか、中之島の国立国際美術館までアイマスクをしてお散歩？まず会議室で、視覚障害の方の理解やガイドの基本について、30分のレクチャーを受けてから、いざ出発。初めての“見えない世界”。

相棒さんのガイド。いいお声だなあと思いつつ、足元がこわごわ、恐る恐る一步一步、足が前へ進まない。足元の段差、周りのお店、居酒屋さん。相棒さんから丁寧な説明を受けているのに、ちっとも楽しくない。ただ、時々吹く風が、心を落ち着かせてくれました。横断歩道、階段、やっところさ国際美術館の広場へ。アイマスクを外したら、太陽が眩しい。キラキラ輝いた太陽。相棒さん様々。

帰りは私がガイド。このガイド、性格が災いして、自分の足元ばかり見て、相棒さんの足元を見てない！自分の足元は平板なのに、相棒さんの足元は少し斜めになっている。階段の手すりを使ってもらおうとするけど、どれくらい右寄り、左寄り、本当は事前に言わなくてはいけないのに、直前になって言うもんだから、転びそうになって。相棒さんはずいぶん怖い思いをしたんだろうなど。ごめんなさい。

会議室に戻って、さあお楽しみの「堂島ロールケーキ」。テーブルの上にケーキと、時計の針の2時の方向に飲み物。「いただきます！」



フォークを入れて切ってるつもりなのに、切れてない。切ったつもりなのに、切れてない。お口へうまく持っていけない。日頃のお上品さ(?)はどこへ。なんとかお口へ入れて。誰かの「どんな色してるのかしら。」「どれくらい大きいのかしら。」という声。そういえば、最初のレクチャーの後、アイマスクをして物を渡していくゲームをしたとき、ぬいぐるみやボールの色や形がわからなかったっけ。ロールケーキはなんとか完食したけど…、おいしゅうございました、とは言えなかった。

たった2時間のガイド体験会でしたが、人生いままでお勉強したなかで、非常に価値のある、意義のある体験会でした。これからは、視覚障害の方に会ったら、勇気を出して「何かお手伝いしましょか？」と声をかけたいと思います。

### ◆当日の参加者のアンケート結果から

「見えにくい方の物の見え方を知り、全盲の方でなくても車など大変危険だと思った。」

「声かけを多くして、景色や状況を細かく伝える方が良い事がよくわかった。」

「実際に手に触れる物と頭で考えてる(想像すること)の違いがよく分かりました。」

「この経験により白杖をもった人がますます目にとまるようになると思います」

「このような体験のできる機会を是非又お願いできたらと思います。」

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2019年4月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

## ♣ 点字製作 ♣

### 4月分完成点字図書

8タイトル22冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

- 痛みと不調がなくなる血流  
コントロール(落合壮一郎) 2冊  
点・校:G東医
- 核兵器はなくせる(川崎哲) 2冊  
点:木虎真紀  
校:G校正 宗像真李子
- ズボラでもラクラク!飲んでも  
食べても中性脂肪コレステ  
ロールがみるみる下がる!  
(板倉弘重) 2冊  
点:山下慧子  
校:川崎安恵 中川春美 八木光子
- 総合診療医として生きる  
(周東寛) 3冊 点・校:G東医
- 届け出だけでもらえるお金  
(井戸美枝) 3冊  
点:山口節子  
校:G校正 宗像真李子
- 星野源 音楽の話をしよう  
(星野源) 3冊  
点:平澤敦子  
校:G校正 平野 健
- 在日異人伝(高月靖) 5冊  
点:井上眉美  
校:G校正 平野 健
- ことばハンター(飯間浩明) 2冊  
点:井上眉美  
校:G校正 丸山順介

## ♠ 録音製作 ♠

### 4月分完成録音図書

13タイトル(書名、著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

- ヘラクレス  
大友の聖 将(赤神諒) 11:38  
音:谷口伊都子  
校:岩井悦子 山口孝代  
 阪本由美子 坂口幸子  
編:山崎千代子
- 会社の降り方、自分の昇り方  
(岡田昭一) 4:43  
音:土井賀津子  
校:宮 清子 阪本由美子  
編:山崎千代子
- 心と体が最強になる禅の食  
(千葉公慈) 5:35  
音:橋本順子  
校:松井喜美代 大西祥子  
 前田元子  
編:山崎千代子
- 50代からのちょっとエゴな生き方  
(井上裕之) 2:59  
音:兵頭賢一  
校:中野靖子 阪越紀子  
編:植田美穂子
- サラブレッドに「心」はあるか  
(楠瀬良) 7:22  
音:岡 香代子  
校:谷澤耀子 酒居よし枝  
 土井賀津子  
編:寿田禮子
- 推理は空から舞い降りる(喜多喜久)  
8:33 音:横山栄子  
校:畑 豊弥 鈴木ますみ  
 阪越紀子  
編:石井ふみ代
- スポーツの現場ではたらく  
(小松ゆたか) 4:23  
音:兵頭賢一  
校:宮 清子 荒木良子  
編:石井ふみ代
- 台湾と日本を結ぶ鉄道史  
(結解喜幸) 6:16  
音:大坂陽子  
校:前田元子 松浦洋子  
 酒居よし枝 濱 欣子  
編:金井典子

- 多々良島ふたたび(山本弘 他)  
8:38 音:山田啓子  
校:岡村佳子 阪本由美子  
編:辻野玲子
- 氷上秘話(いとうやまね) 7:15  
音:小林幸子  
校:福池恵理子 久保洋子  
 桂 公子  
編:本村英子
- ピンピンコロリの新常識(星旦二)  
2:59 音:平田恵美子  
校:鈴木ますみ 土井賀津子  
編:辻野玲子
- もうブラック企業しか入れない  
(福沢徹三) 6:12  
音:岡崎節子  
校:寺田美枝子 町田美樹子  
編:若槻敬子
- 我が家に天使がやってきた  
(服部剛) 0:59  
音:前田綾子  
校:伊志峰和代 中野靖子  
 羽淵雅子  
編:下山とよみ

## ♥ プライベート製作 ♥

### 点字図書

- 愛の中へ 1冊  
点・校:辻野純代 橋本和代
- 吟詩 1冊  
点:待田敏彦 校:G校正
- 米騒動と社会福祉(大阪ソーシャル  
ワーカー協会編) 3冊  
点:加尾美千子 校:雪岡加奈子
- 「金平糖」第136回短歌サロン1冊  
点:待田敏彦 校:若林安也子
- 箏曲楽譜宮城道雄作曲集改訂版  
さくら変奏曲(宮城道雄) 1冊  
点・校:奥村純子 鴻上真理  
 前田美代子

働く人のほんとうの健康法

(服部真) 2冊

点:梶原由美子 校:G校正

ライオンのあとで 1冊

点:待田敏彦 校:G校正

Lately 1冊

点・校:橋本和代 辻野純代

### 録音図書

キュリー夫人(B・バーチ) 10:14

音:宮 清子 校:那須由美子

編:山下富代

「行動デザイン」の教科書

(博報堂行動デザイン研究所)

7:38 音:岩田真智子

校:川辺洋子 編:植田美穂子

南京玉すだれ入門

(花丘奈果) 3:16

音:大坂陽子 編:八田美未子

ふてえ奴 上(清水一行) 4:30

音:松本公丹子 編:辻野玲子

## ◆ 定期刊行物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2019年5月号

発送:木下正義 中島千恵

西垣泰子 山田一弘

『読書』2019年5月号

デジ版 1:10

音:寺下千秋 校:下山とよみ

発送:井川倭文子 板波キミ

並木昌子 宮崎ナオヨ 宮野興子

『JRニュース』2019年5月号

点字版 5冊

点・校:金曜日グループ

『鍼灸OSAKA』Vol. 34 No. 3

(2018 131号)

デジ版 10:12

音・校・編:情報文化センター

「東洋医学チーム」

荒木良子 伊東晴子 岩崎千佐子

植田美穂子 大坂陽子 岡村佳子

片岡珠子 金井典子 壁谷岑子

久保洋子 栗本慶子 佐々木マス子

佐藤圭子 佐山敦子 関岡直江

多田禮子 長田ひとみ 野崎淳子

羽淵雅子 濱 欣子 濱名あきよ

浜本裕子 前川祐子 前田元子

三上 菊 桃井輝子 森口慶子

山本雅子 渡辺一枝

### 『日経パソコン』

デジ版 2019年4月号 5:20

音・校・編:情報文化センター

石井那智子 小倉玲子 片岡珠子

桂 公子 金井典子 川端真知子

北川温子 木村純子 小林幸子

小森佳津子 坂口幸子 阪本由美子

佐々木マス子 佐山敦子 嶋川真理子

下山とよみ 多田禮子 寺下千秋

寺田美枝子 西田芳美 西村郁子

二宮真理 橋本万里 浜本裕子

福島博子 前田元子 三上 菊

目連雅子 横山時子

### 『サイエンスかわら版』

デジ版 2019年3月号 4:16

音・校・編:情報文化センター

「理数チーム」

大桑久美子 河原真知子 木村純子

多田禮子 寺田美枝子 橋本万里

横山時子

### 『英語よもやま通信』

デジ版 2019年5月号 2:36

音・校・編:情報文化センター

「英語チーム」

金本季子 川端真知子 小林幸子

中島美穂 中原尚子 野崎淳子

前田元子 的場操代 山崎千代子

脇本登志子

### 『子供の科学』

デジ版 2019年3月号 3:33

音・校・編:グループ汐(ゆうしお)

井駒多津子 岸田素子 吉川弘美

澤田美那子 多田禮子 田中英子

土井明美 南浦京子 宮 清子

吉田 薫

『お役立ち目録～日本ファンタ  
ジーノベル大賞』2019年5月号

デジ版 0:09

音:寺下千秋 校:下山とよみ

### 『週刊新潮』デジ版

◆2019年4月4日号 9:17

今岡松代 岡村勝彦 奥田和美

柏木和子 加藤紀美子 河原真知子

木村加代 黒河典子 竹村京子

中村千賀子 中本和代 西田文子

久富恭子 兵頭つね子 深津綾子

福田佳代

編:中本和代

◆2019年4月11日号 10:16

岩田真智子 上原多美子 大島幸枝

大橋恵子 岡崎節子 長田志野

長村明子 上村裕子 坂口幸子

坂本雪枝 阪本由美子 佐藤公平

澤井 稔 嶋林茂子 鈴木恵子

寺下千秋 林 由子 平野さち

古川京子 増田典子 向高寿子

山田啓子 山本スズ子 山本晴代

編:小森由紀子

◆2019年4月18日号 10:06

荒木節子 岩谷友子 太田貴子

大山節子 越智真弓子 北村優美子

清水百世 新熊美衛子 高久俊子

託摩多美子 田淵浩子 寺西竹子

当房公子 中本和代 成田由紀

西村道子 西山トシ子 直場徳宥

橋本明子 橋本佳子 服部秀美

藤澤元子 星子鐵郎 前田元子

松原和子 柳内登喜子 山下 豊

大和澄子

編:中本和代

◆2019年4月25日号 9:41

有川美津子 飯島令子 大島幸枝

大塚しづ子 大森恵子 上村裕子

川添美智子 川端砂代子 川辺洋子

久下悦子 小池雅子 坂田嘉子

坂本雪枝 佐藤公平 澤井 稔

澤田由紀 沢田玲子 嶋津美香

嶋林茂子 竹内有里 玉置明美

田宮加代 地上博子 坪田捷子  
中地淳子 西岡千代子 橋村恵子  
兵頭賢一 平田恵美子 前田元子  
松浦洋子 松本祐佳 森口慶子  
山下尚子 湯浅里美 吉田典子  
吉永英子 和田啓子 和田ゆう子  
編:古跡真知子

## ◆新潮音訳協力グループ

八幡市民図書館朗読ボランティア  
サークルよむよむ  
奈良県視覚障害者福祉センター  
「草笛会」  
グループN-BUN デイジー大阪

## 🍷 館内お手伝い 🍷

## 図書・情報サービス

飯村康志 板波キミ 板谷照美  
上田敬子 海上映一 小椋美智子  
片岡忠克 木村謹治 梶村千恵  
小寺高子 小林弘子 武部はつ子  
塚本紀子 当房公子 西 征子  
逸見恵子 宮嶋昌代 宮野興子  
森本益子 若槻敬子  
[茨木市バラの会]  
堂 晴美 永崎利恵

## ◆4月の貸出実績

点字 195t1 DAISY 3473t1  
テープ 38t1

★4月の人気貸出図書★  
(当館製作図書。順不同。)

【点字図書】  
おそロシアに行ってきた  
(嵐よういち)  
折りたく柴の記(新井白石)  
葉に頼らず血圧を下げる方法  
(加藤雅俊)  
日本の温泉 西日本編  
(旅行図書編集部)  
【録音図書】  
戦争の日本中世史(呉座勇一)  
俺たちの「戦力外通告」  
(高森勇旗)  
「週刊文春」と「週刊新潮」  
(花田紀凱)  
通天閣さん(高山トモヒロ)

## 整理・情報サービス

板波キミ 板谷照美  
鱗星千恵子 小椋美智子  
逸見恵子 岡田満千代

## 電子書籍

池尻三千子 西村佐世子

## 情報システム

森田敏子

🎧 音声解説 🎧  
(ボイスぷらす)

## ◆シネマ・デイズー

「バースデーカード」  
ナレーション:大桑久美子  
台本制作・編集:大桑久美子  
川添美智子 弘津千加子  
台本校正:藤井倫子  
編集校正:那須由美子

## ★ 電子書籍 ★

～一ツ橋総合財団助成事業～  
マルチメディアデイズー図書を  
はじめとする当館の電子書籍は、  
公益財団法人一ツ橋総合財団の  
ご助成により製作されています。

## ◆プライベート製作

かんたん合格ITパスポート  
過去問題集 平成30年度秋期  
森田敏子  
障害者の〈生〉  
山田理子

## ◆音訳教材

(マルチメディアデイズー教材用)  
政治経済  
音・校:上月直子 下山とよみ  
校:森口慶子  
地学基礎  
音・校:辻野玲子 小倉玲子  
校:久保洋子  
現代文B  
音・校:山中真理子 水野順子

## 🍷 対面リーディング 🍷

青木幹雄 秋本直美 伊東晴子  
稲田至功子 犬塚敬彦 上ノ山禎子  
後 恵子 江口不二子 大坂陽子  
大西裕恵 大森恵子 岡崎節子  
岡崎博子 奥井秀子 長田志野  
桂 公子 金井典子 神谷考子  
河内町子 河上千鶴 黒瀬勝司  
小池雅子 小杉洋子 小山久子  
坂本雪枝 佐藤圭子 澤井 稔  
柴山和子 島 美緒 嶋津豊子  
神保克子 高橋美代子 高橋由紀江  
田那辺優子 谷崎節子 辻村 稔  
中野龍子 中本由美 畠田幹子  
林 久利 麓 孜子 古木昭子  
細井昌子 堀内眞里 増尾明子  
増山多恵子 松谷富子 松田洋子  
松原和子 眞野祥子 南 礼子  
三好充子 向井民子 目鷹直美  
望月 明 森田 陸 山内一子  
山内紀代子 山崎 彰 米田るみ子  
4月 利用者15人・64件  
ボランティア60人

『対面リーディング通信』編集  
木村謹治 澤井 稔 細井昌子  
望月 明

☒ パソコンサポート ☒  
(ボイスネット)

【4月実績】  
例会:石川昌宏 伊藤 勇  
木村朱美 阪本敏弘  
原木 眞  
HP更新:中条正信  
週報:和田眞由美

## \* ご 寄 附 \*

市川 顯 片瀬富士夫 中津毬子  
西畑貴好 野村和彦 湯川欣晃  
(敬称略をご容赦下さい)

## 「大阪あいねっと」のリーフを府内に配付

### 見えにくさで 不安のある すべての皆様へ

このリーフレットは、「見えにくい」「みえない」などで困りの方が、適切な指導や訓練などの紹介を受けられるように、大阪府内の施設や団体をご案内する目的で作成しました。本が読みにくく、まぶしく見えにくい、仕事を続けるのが難しい、気持ちが落ち込むなど、どんなことでも、まずこのリーフレットにある連絡先までご連絡ください。ご相談内容に応じて適切なロービジョンクリニックや施設、団体をご紹介します。

発行：大阪あいねっと 後援：(一社)大阪府眼科医会

相談窓口 社会福祉法人 日本ライトハウス  
情報文化センターサービス部  
電話 06-6441-0039



適切な相談先を見つけて、生きる希望や力を得ていただく取り組みをしています。この度、一般向けの広報リーフレット(写真は表紙)を作成し、大阪府内全市区町村の障害福祉の窓口へ送付しました。内容は9施設・団体の簡単な紹介と連絡先です。当館3階にも常備していますので、視覚障害で困っている方々へのご紹介にぜひお使いください。

## 今年度も国会・学術文献録音図書を受託

当館メディア製作センターでは、今年度も国立国会図書館の学術文献録音図書製作事業(合計500時間、約20タイトル)を受託しました。これは、全国の公共図書館などから依頼のあった学術文献を音訳録音するもので、当館でなければ製作困難な古典や医学書などが多数含まれています。録音ボランティアの皆様には大変なご苦勞をかけますが、視覚障害者への公的な情報保障を進めるため、お力添えをお願いいたします。

## 専門点訳「点訳のてびき」コースに99人

第32回専門点訳講習会「点訳のてびき第4版解説コース」を5月9・10日と29・30日の2回開講したところ、定員をはるかに上回る99人(2回合計)が受講。今年改訂出版された日本点字委員会の「日本点字表記法」と、それに基づいて出版された全視情協の「点訳のてびき第4版」について、日本点字委員会の渡辺昭一会長と当館職員の奥野真里から詳しい解説が行われた後、参加者との間で熱心な質疑応答が交わされました。

## あゆみ

### 【5月】

- 9日 ボランティア友の会世話人会
- 9日・29日 専門点訳講習会・点訳のてびき
- 11日 ICTサロン開講～ICT利用最前線  
オープンデー(館内見学日、9人)  
アミ・ドゥ・ブライユ読者交流会(東京)
- 15日 専門音訳講習会・図表コース開講
- 16日 音訳V養成講習会(3)開講
- 18日 専門音訳講習会・古典コース開講
- 23日 ボランティア友の会・ガイド体験会
- 24日 日本ライトハウス理事会・評議員会
- 31日 わろう座映画会「バースデーカード」

## 予定

### 【6月】

- 4日・7日 専門音訳講習会・小説の読み方
- 8日 オープンデー(館内見学日、要予約)
- 13日～14日 全視情協総会(東京、竹下)
- 16日 日本ライトハウスチャリティコンサート
- 20日～21日 全国盲人福祉施設大会(帯広、竹下)
- 27日～29日 臨時休業：ボランティア活動・サービス部(3階総務係・4階会議室は開室)

**編集 後記** 97歳の母を見送りました。長い連休のお陰で、毎日家族で見舞って、讚美歌を唱い、旅立ちを看取れたことが慰めでした。母は10数年前から認知症になりました。意志のはっきりした人でしたので、心身が次第に弱っていく姿を見るのはとても辛いことでした。が、人生を力強く生きてだけでなく、晩年に自分の弱さを受けとめながら生き抜いた姿も立派だったと思い、改めて母への敬愛の念が募っています。(竹)

ワンブックワンライフ

ONE BOOK ONE LIFE 2019年6月号

発行 社会福祉法人日本ライトハウス

情報文化センター(館長 竹下 亘)

住所 大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)

TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0095

E-mail info@iccb.jp

表紙絵 武部はつ子

発行日 2019年6月1日

定価 1部100円 年間購読料1,000円